



北のシュプール

第499号

発行 北海道勤労者スキー協議会機関紙部 編集責任者 金濱 茂
 札幌市白石区平和通3丁目北 3-13-202 tel&fax:011-784-3272 郵便振替 02700-7-48231
 ホームページ: <http://www.wsah.info/> e-mail: wsaj.hokkaido@gmail.com

2025年度道・各クラブスキー学校無事終了する

スキー学校部長 石川 芳昭



今年で41回目を迎える常設スキー学校は、12月26日から28日の三日間は手稲ハイランドで、1月3日から13日の11日間は藻岩山スキー場で、合わせて14日間実施しました。今年も南区は雪が少なく、特に藻岩山は7日まで、クリスタルコースや南斜面

の上からのコースも閉鎖という状況で、講習できるゲレンデが少ない中での取り組みでした。

今回のスキー学校は、昨年につき、口座事前振り込み、桂が丘山荘入口前(外)でのゼッケン渡し等のコロナ対策を講じて実施しました。

今回の特徴的なことは、学童クラブが少なくなった分を、一般の受講者が多くなりカバーされたことです。受講者は、のべ443名(昨年は452名)で9名減、講師はのべ130名(同135名)でした。学童クラブ(団体)の参加が、のべ388名(同434名)で46名減、一般がのべ55名(同18名)で37名増でした。昨年の受講生の方に20通(同18通)案内を出しました。また、メールファックスによる事前予約では22件(同14件)の申し込みがありました。

昨年まで、夏休み、冬休みが25日間でしたが、今年は夏休みが約一か月間と延長され、冬休みが20日間位となり、三学期の始まりが早まったため、昨年まで取っていた連休の休校措置も取りやめて実施しました。インフルエンザ、コロナの流行から学童クラブで事前申し込みより多くの欠席がでたところがありましたが、一般の受講者が、リピーター、HPを見てとか友達の紹介など多かったので、おおよそ昨年並みの実績となったことは良かったです。また、今まで一般受講者のほとんどが小学生でしたが、今年では中高生、大人の方にも受講していただき、喜ばれたこと(感想から)も特徴的なことでした。ハガキアンケートは9名(昨年は5名)から来ましたが、受講者は「来年もきたい」「楽しく上手になった」と満足していました。

多くの講師をしていただきました指導員の皆様はこの場をかりて感謝申し上げます。

(アンケートの感想から紹介します)

○ 有難うございました。人生で初めて最後の講習に参加させていただき、感謝しています。1日もつかなあと思っていたのですが、2日間、やれることができ嬉しかったです。費用も少額で、大変だと思いますが、多くの人が参加できるように頑張ってください。(75歳男性)

○ 少人数で指導していただき、毎年安心してお願い

い出ています。また、来年も絶対に行きたいと子供も話しています。また、宜しくお願い致します。(2年女子母)



- この字で滑れるようにもうちょっと練習したかったです。ターンの練習や止まる時などの練習もしたかったです。人数が少なかったの、いっぱい滑りたかったです。スキー楽しかったです。楽しいスキーを有難うございました。(中1女子)
- 今まで意識していなかったストックワークや目線がわかった。もう少し多く滑りたかった。とても分かりやすく教えてくれたので上達できた。(高校1年男子)
- とても楽しかったようです。本人は翌日も行きたいと言っていました。スキー苦手嫌いではなく、少しでも好きになれた様子なので、本当に良かったです。有難うございました。(2年男子母)

「親子雪まみれスキー」



2025, 1. 13 札幌スキーフレンド

副会長 斎藤 進一

1月13日(テイネハイランド)で「親子雪まみれスキー」を開催し、13家族(子ども13人、保護者18)、会員合わせて総勢39名の参加でした。

フレンドでは2008年から会員の中の「子育て世代」の要望を取り入れ、「ファミリースキー例会」を開催してきましたが、どんどん子供は成長し、気が付けば高校生、大学生へ。親と一緒に滑ることにハニカム世代に…。

そこで学童保育クラブに声をかけて、「親子雪まみれスキー」を開催。「子どもと一緒に滑りたい」との保護者の声を取り入れ、数年前からは、こどもの成長を見守りながらの「スキーレク」的な内容にしています。

クラブ会員は、参加した親子のサポートに徹します。コース選び、時間配分、記念写真、昼食での団らん。どの時間も楽しい親子のひと時になります。

初参加のお父さんは「子どもがガンガン滑り、ついて行くのが大変でした。楽しい一日でした。」1年生のお母さんからは「動画を観ましたが、初めてのスキーを楽しく滑られ、親も子どもも大満足です。」「子供達には、またスキーの機会を頂ければと思います。」と声がよせられています。

冬休みスキースクール



スカディスキークラブ 管 幸彦

1月4日と5日の2日間、グリーンランドホワイトパークで第23回スキースクールを開催、当日にインフルエンザや都合が悪くなったりして58人から減少、53人の子供たち、20人のスカディ会員が参加してスキースクールを開催しました。

募集開始から1週間も経たずに定員の50人に達し、スキー教室で習いたい、習わせたいと思っている親子が多いと思いました。

1日目は生憎の雪、日が差したかと思えばすぐに吹雪模様。私は初歩の組を担当。片足スキーで平地を歩くことからスタート。徐々にレベルを上げ、

滑ること登ることを行いました。登ってる途中で後ろ向きに滑り落ち、やっと登って滑るとプルークがでぎず止まらずに転び、雪にまみれ「指が冷たい」と子供たちの泣きが入ります。それでも時間いっぱい頑張りました。

2日目は、直前まで降った雪がコース上に積もったまま。まずは初歩組のためのコース作り、スキーをはいて雪踏みから。始める前から汗だくで疲労感が半端なかった。

天気が良くなり景色も良く見える。リフトに載せると子供たちは大喜び。「(父と姉が)リフトに乗って滑ってる間、僕はソリ滑りしてた。」という子がリフトを楽しんでいました。初歩の子をリフトに乗せる時は椅子にちゃんと座れるように、降りるときは途中で転ばないようにと緊張します。

初歩の組を担当するとプルークばかりで、しかもサポートベルトを使い支えなければならぬから筋肉痛になります。しかし、子供たちの成長が目当たりに見えるので楽しみでもあります。今年も無事終了することができました。会員の皆様お疲れ様でした。



ホワイトフレンド「スキー教室」&「受講生と一緒に滑ろう会」 そして「スキーまつり」へ



今年は、1月4日④5日⑤の二日間、グリーンランド・ホワイトパークで行いました。

ここ数年は、コロナだの、小雪のためゲレンデ閉鎖で中止や低調だったスキー教室でしたが、今年は受講生23名と復活の兆しが見えてきた年となりました。指導員は9名の参加でした。

去年は13名の受講生しかいませんでしたが、リピーターとその受講生からの口コミ、新たな声掛けで1.8倍の人数を確保することができました。ある程度の人数が集まると私たち

主催する側も元気が出ますし、受ける側も賑やかに楽しさが増してきました。

また、受講料に「家族割」を設定していますので、兄弟3人での参加が二組、2人での参加が二組と功を奏しています。来年度の受講生はもっと増えるだろうと期待しています。

わがクラブのモットーは「とにかく、スキーを楽しく感じてもらいたい」事ですから、出来なかった事が出来るようになってうれしくなったり、また転んでも、深雪に突っ込んで「楽しい！」と感じてもらうことが大切です。

今までは最初の段階で、滑るために坂を登る行動(技術)として「カニ歩き」を習得することをしてきました。ゴムマットを用意したり、スキーの運び方を時間をかけて教えたりしていましたが、スキーを初めて経験する子どもたちにとってこんな辛い苦しいことはないのではいか、これでスキーが嫌いになった等。これは「カニハラ」ではないか、と最近感じ始め、今年はカニ歩きが苦手な子はスキーを外して手に持って登らせ、とにかく滑る楽しさを最初に感じてもらうようにしました。ボーゲンで止まれるようになることと緩斜面でのターンの感覚をつかんだ子には、即リフトを使って、中斜面での滑走に挑戦してもらいました。もちろん安全には細心の注意を払い、ゴムロープを使って暴走を回避したり後ろ向きに滑りながら誘導したりと、各指導員の得意な形で進めますが、一回頂上から降りてくると、子どもたちのスキー術は格段と上がっており、降りて来たときには、スキーの扱いに慣れ「カニ歩き」も難くこなせるようになっていきます。



もちろん、初歩の受講生7名は全員自分の力で頂上から滑走できるようになりましたし、全受講生がスキー技術をアップさせることができました。カニハラスメントはやめよう！」が今年の成果です。

「スキー教室」と切り離せない「受講生と一緒に滑ろう会」を次の週に萩の山スキー場で行い、受講生の親子一組が参加してくれました。楽しく遊ぶことを第一にして、その中で更なるレベルアップと楽しさアップです。

さて、次は2月に行う「スキーまつり」です。ショートポールを使った「申告制タイムレース」をメインに「宝探し」や「雪上ゲーム」を行って盛り上げたいと思っています。(報告:秋元)

初中上指導員養成実技行う



今年度の受験生は初級受験者3名、中級3名、上級2名の8名。雪質も良く雪量も豊富で気持ちよく練習できました。教程技術ではプルークからはじめ、谷回りで開き出した外脚に荷重してターンを仕上げ、山回りでの荷重ではないことを確認する。アンギュレーションや内・外旋を意識することによりより深い弧を描くことができる滑りを練習。多くの受験生が不得意とする不整地小回りは、コブに入る前コブに合わせての小回りの練習をすることが良いとして、検定までの課題として残されました。1日目の時間外にはビデオを見てコメントを頂き滑りの再確認をしました。そのお陰で翌日の講習では一段と熱が



入り前日の滑りより格段に足前が向上したように思います。

1月13日は野瀬さんの誕生日でしたので少しの時間を頂き、くす玉を割ったり理事長が用意してくれたロウソク付きのバームクーヘンでお祝いをしました。(報告:小野寺)

「パウダーフェス in 札幌国際」開催



1月12日～13日に「パウダーフェス in 札幌国際」が開催され、絶好の天気恵まれ、参加者皆さんの笑顔が溢れたイベントとなりました。

フェスには全国から5クラブ、32名(北海道から8名)の山スキー大好き人間が参加し、朝里岳での山スキーとゲレンデスキーを楽しみました。

12日は雲が若干あるものの微風、この時期には珍しい程の素晴らしい天気の中、3班に分かれて朝日に輝く雪を被った樹林帯を歩き、山頂を目指しました。

急斜面を登りきると、石狩湾の奥に増毛連山が見え始め、北海道らしい広大な景色に「奇麗、素晴らしい景色だ」との声も上がりました。山頂からは余市岳や白井岳を望み360度絶景を楽しみました。

下りは美味しい斜面まで一気に滑り滑り楽しみのオープンバーン。膝くらいのまでの正に極上パウダー「こんな雪は本州では味わえない。」と歓喜も！

夜7時から交流会が開催され、各クラブからクラブ紹介や、じゃんけん大会で交流を深めました。13日も青空広がる絶好の天気、山スキー3班とゲレンデ班に分かれて行動し、山頂まで登った班、オープンバーンにショートカットした班、一部のクラブは山頂からキロロスキー場に向かいました。

全体的には12時にロッジで解散となり2日間に渡ったパウダーフェスが成功裏に終了しました。

参加された皆さん、大変お疲れ様でした。心地よい疲れの2日間でした (オフピステクラブ通信より)

お知らせです

Fu'sでのポール練習

1月21日(火)～3月11日(火)までの毎週火曜日に実施。(2月11日を除く)

14:00頃にリフトに乗り、スキー授業の様子を見てポールをセットします。

15:50頃からポール撤収作業して終了の予定です。

参加費500円(期間中)沢山の参加をお待ちしております。

ポール練習会 ～大会と同じバーンで練習します～

日時：2025年2月23日(日)8:30集合～15:00

会場：北海道グリーンランドホワイトパーク

講師：澤口 学さん

参加費：1,500円(応用研修を兼ねる)

申込み締め切り：2月16日(日)

※申込みはクラブでまとめて、競技部・大野まで。

締め切り迫る

第42回クラブ対抗競技大会

日時：2025年3月2日(日)9:00～14:00

会場：北海道グリーンランドホワイトパーク

競技種目：大回転(1本)、タイム予告レース

参加費：大人3,600円、中・高校生2,600円、小学生2,100円

申込み締め切り：2025年2月8日(日)期日厳守、早めの申し込み大歓迎！

※詳細は実施要項をご覧ください